

MOBILE SUIT LM314V21 Gundam models Designed and produced by Ka. VICTORY TWO GUNDAM "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:LM314V21, HEIGHT:15.5m, WEIGHT:11.5t,
FULL EQUIPPED WEIGHT:15.9t, GENERATOR OUT PUT:7510kw THRUSTER:MINOVSKY DRIVE UNIT+66790kg
(16700kgx2, 4770kgx7), APOGEE-MOTOR : 42, MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY & SUPER CERAMIC COMPOSITE,
ARMAMENTS / HEAD VULCAN GUNx2, BEAM SABERx2, BEAM SHIELDx1,
BEAM RIFLE(MULTIPLE / GRENADE)LAUNCHERx1

CONSTRUCTOR:LEAGUE MILITAIRE

MOBILE SUIT LM314V21 Gundam models Designed and produced by Ka. VICTORY TWO GUNDAM "Ver.Ka"

MG LM314V21 VICTORY TWO GUNDAM "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : ISHIWAKI TSUYOSHI (GUNDAM A)
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO (ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI (JAM)



GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイトへ www.bandai-hobby.net/
Any fees accrued by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任となります。



LM/MULTIPLE MOBILE SUIT
U.C.0153 LEAGUE MILITAIRE

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は塗装してあります。 ※本書内の開発画稿は準備稿です。

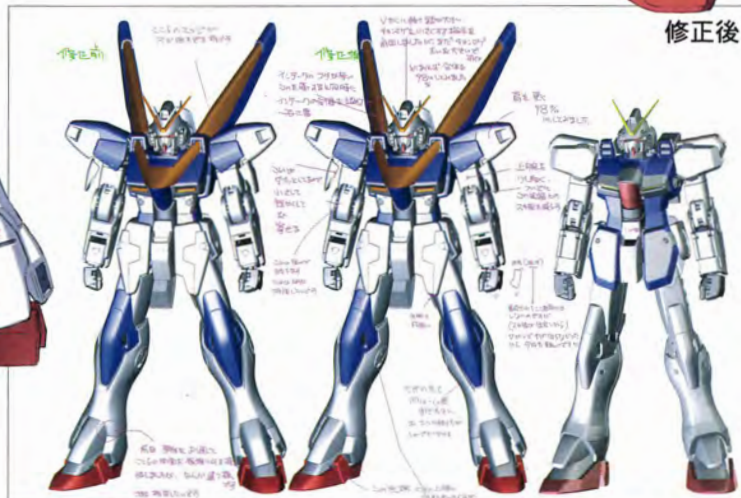
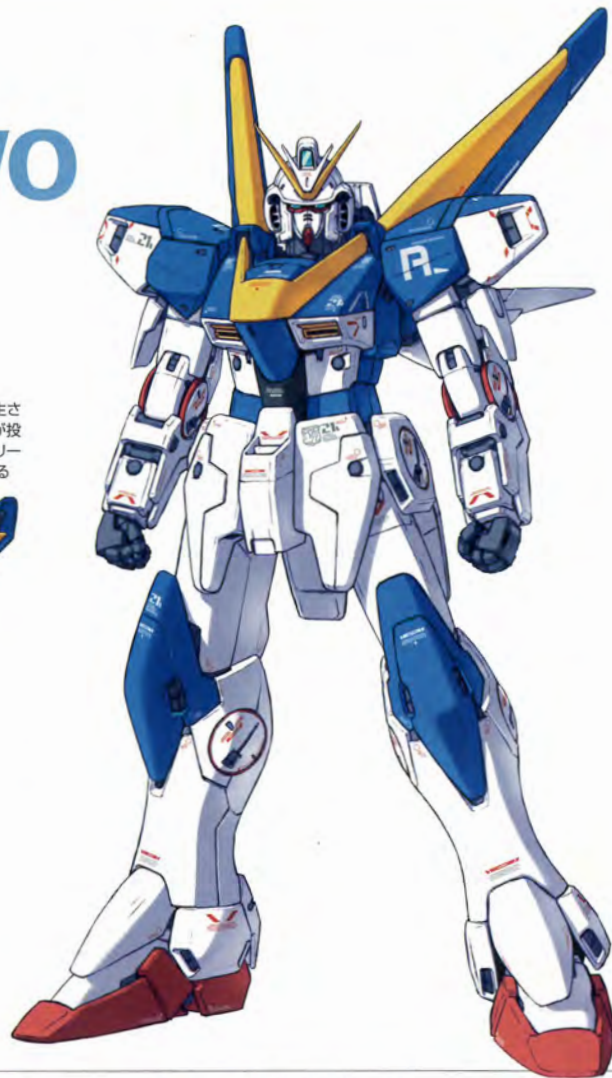


0203225

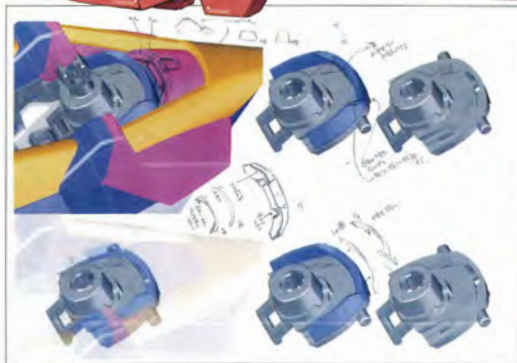
MOBILE SUIT LM314V21 VICTORY TWO GUNDAM "Ver.Ka"

LM314V21 V2ガンダム

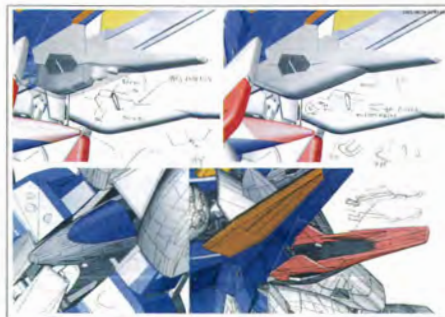
激しさを増していくザンスカール帝国との戦いで、リガ・ミリティアが新たなシンボルとして誕生させた汎用可変体MS。ミノフスキー・ドライブなどU.C.0153年時における最高水準の技術が投入されている。最大の武器は背中からビームを放出することで形成される「光の翼」。またヴィクトリーガンダムと同じく各部にハードポイントが設けられ、それを生かした武装強化プランが複数存在する



修正後



↑首元は視線が集中する顔の近くでもあるため、ディテールを追加する指示が加えられている。青い襟パーツの前面は曲線の傾きを強く書き込みがある



↑全体のフォルムに対する修正指示が書き込まれている。頭部は若干小さく、ヒザや腕のポリウム感を減らし、胸部インテークと腕部ハードポイントの厚みを減らすといった指示がある

←CAD画像で背面をさまざまな角度から検証している。ミノフスキー・ドライブ・ユニットのカバーでは、両側面のディテールを垂直にしてシャープな印象になるよう指示が書き込まれている

ヴィクトリーガンダムの後継「V2」ガンダム

カトキハジメ インタビュー

「機動戦士Vガンダム」に登場するV2ガンダムは、ヴィクトリーガンダムの後継機にあたり、ファンからMG化の要望が高かったMSでもあった。曲線主体で、小型化された機体に分離・変形・合体機構を盛り込むという課題に、1990年代当時のカトキハジメ氏はどのように取り組んでいったのだろうか。

ヴィクトリーガンダム(Vガンダム)が継承したRX-78-2ガンダムのコア・ブロック・システムは、その後継になるV2ガンダムでも引き継がれ、一連の合体・変形ギミックが設定される事になった。また胸部には目立つ大きな「V」マークを盛ることで作品タイトルがシンボライズされており、Vガンダムがパワーアップされたということがハッキリ伝わるデザインに仕上がっている。

カトキ「Vガンダム」が制作された1990年代は今から思うと、おおらかな時代でした。ちょうどガンプラにスナップフィットが導入されるようになった頃で、MGもHGUCもまだ無かったし、ガンダム関連がビッグビジネスに成長する前でした。だからスタジオも今よりずっと物作りのための現場的な環境で、アニメの黎明期を知る監督やプロデューサーは「オモチャの宣伝のためにアニメは作らないぞ」というような、どこか硬派な気構えがあったように思います。番組もマーチャンダイジングの一環であることは受け入れつつも、意識の配分、バランスが今とは違っていたのでしょ

1990年代はまだ今日のようなアニメビジネスのスタイルは確立されていなかった。そんな中で「機動戦士ガンダムZZ」(1986年)以来、久しぶりに作られたガンダムのTVシリーズ「Vガンダム」にあって、「主役2号メカ」をデザインする経緯とはどんなものだったのだろうか。

カトキ「1991年に『機動戦士ガンダムF91』が劇場公開されて、OVA『機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY』も制作されていました。1993年の「Vガンダム」はTVシリーズとしては初の平成ガンダムでしたが、TV以外を含めれば3作目、設定的には「F91」に続く時代になるわけで、一年戦争的ではないガンダムが必要なんだろうなという、流れでしたね」

歴代の主人公が駆るガンダムには、過酷な戦いの中で未来を切り開くための「特別な力」が必要だった。RX-78-2ガンダムにビーム・ライフル、ガンダリウム合金があったように、一年戦争から74年後の世界で生まれたV2ガンダムには「ミノフスキー・ドライブ」が授けられた。

カトキ「V2ガンダムでは胸からミノフスキー・ドライブにかけてのシルエットと、ドライブの輝きが正面から見てV字に、またその光は背中から生えた羽根のように見えるというアイデアを提案しました。一年戦争からかなり時代も経ったのでガンダム世界の技術が発展してきた雰囲気がある。シリーズ毎で主役のガンダムには何かスペシャルな特徴ないし機能を加えるべきだと

考えたからです。また、このアイデアをガンプラ的な視点から語るなら、「F91」のMSが装備するビーム・シールドをクリアパーツで再現した時、MS本体との素材的な対比がキレイで良い感じだったので、これをもっと活かしたいと考えていました。V2ガンダムの「光の翼」は、通常サイズだと片方で丁度ビーム・シールド1枚分のサイズになるようにしています。最近のガンプラだと「エフェクトパーツ」といって、透明なプラスチックでアニメ的な効果を表現するのが増えてきていますが、今思うとその走りのようなコンセプトかもしれないですね」

昭和時代のガンダムやその他のロボットアニメでは、シリーズの後半で2号メカが登場するのが定型化していたが、平成初のTVシリーズである「Vガンダム」でもこの作法に則っていたのが、「V2」というネーミングからも明らかだ。

カトキ「V2」というネーミングはデザイン準備段階の仮名だったのですが、結局そのまま決定になりました。てっきり別の名前を用意するものと思っていたので、最初ちょっと驚きましたが、今となってはこれ以外は考えられないですね。「アサルト」と「バスター」の両装備は企画段階から予定された強化案ではなくて、V2ガンダムのデザインがひと通り仕上がった後に、アニメのテコ入れが始まって、急遽プラモのために強化パーツを付け足すことになったものなのです。丸い形をしたハードポイントなど、Vガンダムから引き継いだディテールなどを活用してまとめていったという経緯でした」

TV放映時にはさまざまな商品が展開され、ガンプラでもスタンダードな1/144、1/100スケールなどで製作されている。

カトキ「特に1/100スケールのV2ガンダムはよくできていました。差し替え変形だけでも、V2コア・ファイターにもなります。V2コア・ファイターのスラットしたフォルムは私のイメージにピッタリで、いまだに旧1/100スケールのV2ガンダムは好きですね。Ver.Kaで今回ようやくMG化が実現しましたが、商品化まで時間がかかったのは、腰を据えて取りかかる必要があったからです」

主役機系のガンダムは、ファンそれぞれに思い入れも強く、商品化にはシビアになる。加えて変形もあれば、デリケートな扱いを要してくる。

カトキ「CADは便利ではあるものの、修正指示をお願いしたこちらの意図が伝わらないケースも起きるんです。いや、これは木型の時代のほうが修正が反映されやすかったという事ではなくて、単に昔よりも造形に求められるハードルが上がってきて、CADでさえも十分な効果を上げるのは難しいという事です。特にシンプルで曲線主体のデザインだと、曲線のニュアンスを立体に引き写してもらおうのは、どうやっても難しい。それがVガンダムやシナンジュのVer.Kaを開発してきて感じたことで、結局、現物を見てもらうのが早いんじゃないかな？という考えから、今回は私のほうで試作品に直接パテを盛ったり削ったりして、形状の検証をしているところがあります。こうした問題は「新機動戦記ガンダムW」シリーズのMGなどの時にも話し合っていたんですが、この機会に試してみました。直観的に伝達するには、立体物はまだまだ有用です」

V2ガンダムでさらに洗練された曲線デザインの造型技術。そのノウハウは、次のチャレンジャーに活かされることになる。



V2ガンダム

「機動戦士Vガンダム」

U.C.0153年、サイド2で興った新国家ザンスカール帝国は地球圏全域に勢力を伸ばしていた。腐敗・形骸化した地球連邦政府に対抗する力はなく、ザンスカール帝国は「ベスパ」と呼ばれる軍隊を派遣し、地球への武力侵攻を開始する。東欧のポイント・カサレリアに住むウツソとシャクティは、ベスパとレジスタンス組織リガ・ミリティアとの戦いに巻き込まれ、暗く巨大な戦いの渦へとまかれてしまうが……

ウツソ・エヴィン

まだ13歳の少年でありながら、卓越したMS操縦技術をもつ。仲間を守るためにヴィクトリータイプのMSで戦う



MOBILE SUIT LM314V21 VICTORY TWO GUNDAM "Ver.Ka"

精密射撃デバイス

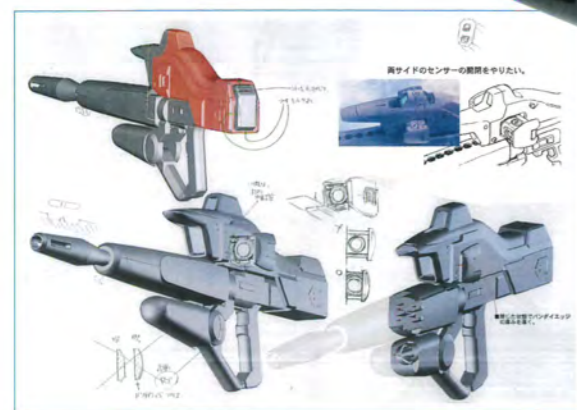


↑精密射撃デバイスを装着した頭部も付属。極小サイズのパーツにしっかりとディテールが彫り込まれている

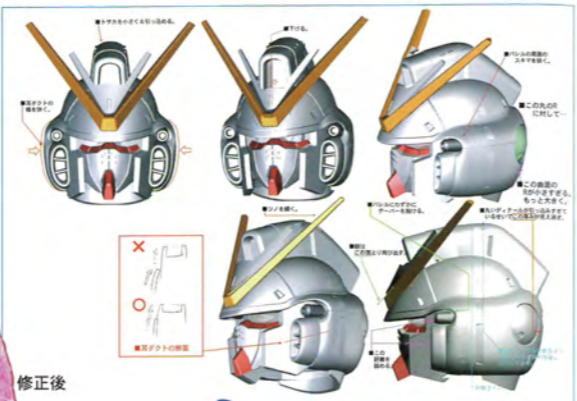


↑ビーム・サーベルはヒジ部ユニット内に収納される

→曲面の微妙なニュアンスを開発スタッフに伝えるために、脚部の試作原型にカトキ氏が直接パテを使って手直ししている



→精密射撃時にビーム・ライフルの両サイドからセンサーが露出するギミックを内蔵。マルチプル・ランチャーはカバーが開閉する
←ビーム・ライフルの両サイドに設けられたセンサーのディテールと、どこまでセンサーを露出させるか、指示が出されている



修正後

↑曲面で構成された頭部。頭頂部のメインカメラをシェイプし、頭部側面とダクトとの段差を緩やかにするなどの指示がある

←背面にミノフスキードライブ・ユニットが配置され、カバーを開くとビームの発振口が確認できる

←ラウンド系のフォルムに、「V」字を象った胸部。フラッグシップ・モデルにふさわしい個性を放っている

←基部がシングル、ビーム・シールドの展開ギミックを再現できる。クリア素材のビーム・シールドは、ホログラム加工が施されている



←V2コア・ファイター時に頭部を覆うカバーに関する指示。輪郭の緩やかな曲線、細部や裏面のディテールについて書かれている

V2コア・ファイター

↓機体のコアとなる小型戦闘機。水平翼をもたない、流線型のフォルムが未来的な印象を与えている。降着装置のパーツを取りつけることで駐機状態を再現できる



V2トップ・リム

↑両腕と胸部側面、腰のスカート・アーマーで構成されており、腕部の変形はVガンダムよりも洗練されている



V2トップ・ファイター

←V2トップ・リムとV2コア・ファイターが合体した形態。前腕部にビーム・ライフルを装着できる



V2ボトム・ファイター

→V2ボトム・リムとV2コア・ファイターが合体した形態。ヒザ・アーマーが開き、偏向フィンやスラスターが露出する



←足の甲とカバーが曲線を描くように、つま先とカカトが畳まれる。足首後ろとカバーとの間にできる隙間を埋めるため、内部メカの追加が提案されている

V2ボトム・リム

→両脚部と股関節のユニットで構成されたパーツ。



→ビーム・ライフルのバレル下部はマルチプル・ランチャーのほかにも、パーツの差し替えで連装式グレネード・ランチャーも装着できる。分解してビーム・ピストルも再現可能

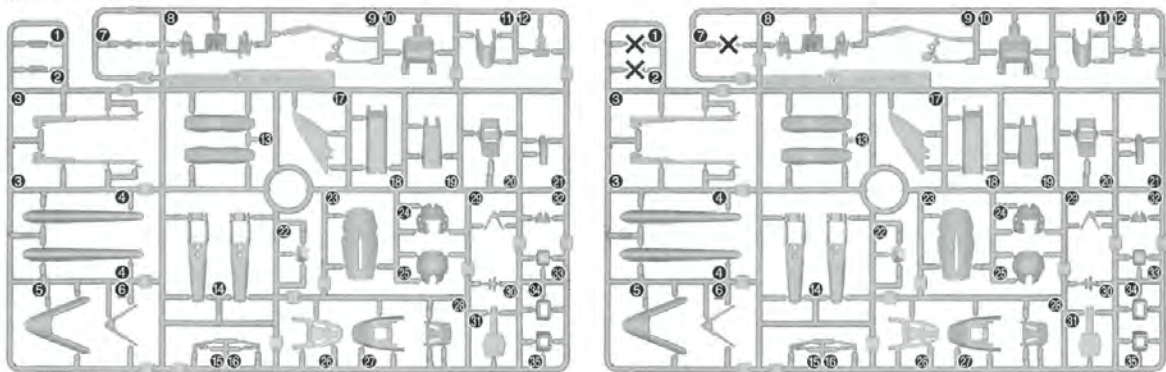


↑パイロット・スーツ姿でコックピット搭乗時のウソコ(中央)、マーベット(左)のほかに、立ち姿のシャクティ(右)のフィギュアが付属

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

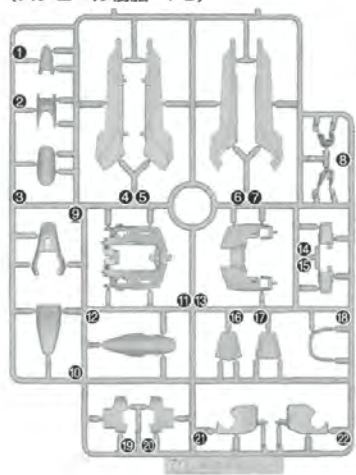
Aパーツ(イロプラ) (×2)

アンダーゲート有り
(スチロール樹脂: PS)



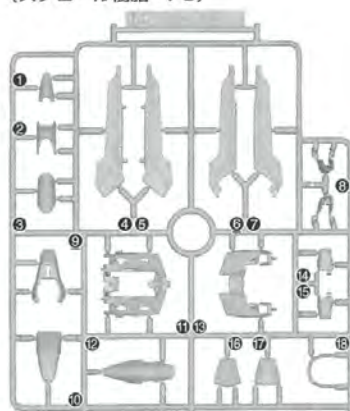
B1パーツ(ブルー)

(スチロール樹脂: PS)



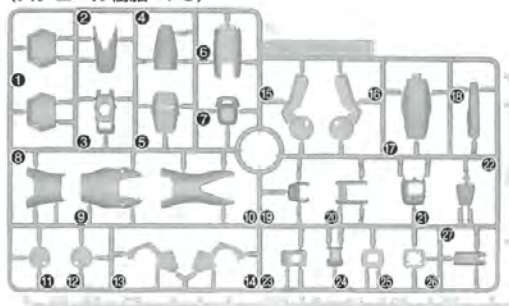
B2パーツ(ブルー)

(スチロール樹脂: PS)



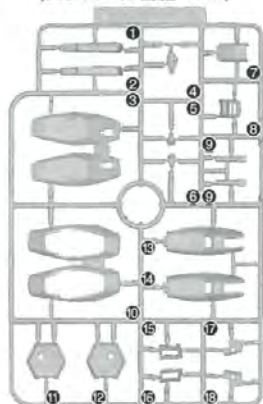
Cパーツ(ホワイト) (×2)

(スチロール樹脂: PS)

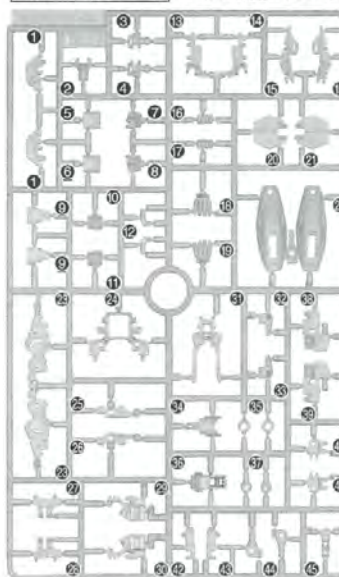


Dパーツ(ホワイト)

(スチロール樹脂: PS)

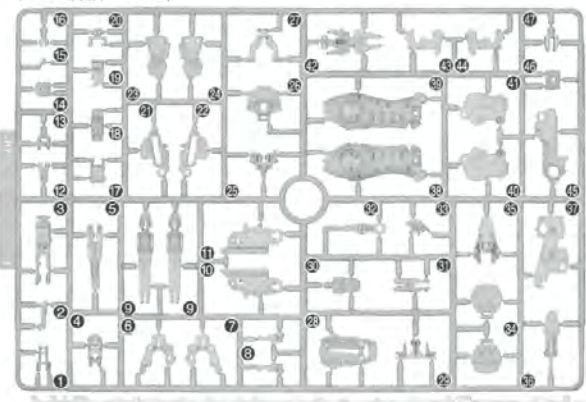


Eパーツ(グレー) (ABS樹脂: ABS)



Fパーツ(グレー) (×2)

(ABS樹脂: ABS)



Gパーツ(ダークグレー)

(スチロール樹脂: PS)



Hパーツ(クリアピンク)

(スチロール樹脂: PS)



PC-7パーツ(グレー)

(ポリエチレン: PE)



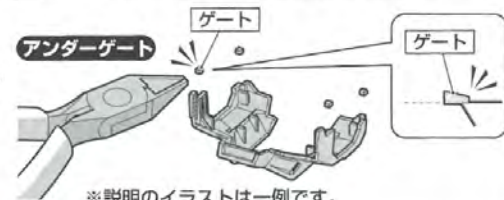
ビーム・シールド(クリアピンク)

(PET樹脂: PET)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



※説明のイラストは一例です。

カラーシール……………1枚
水転写式デカール……………1枚

△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

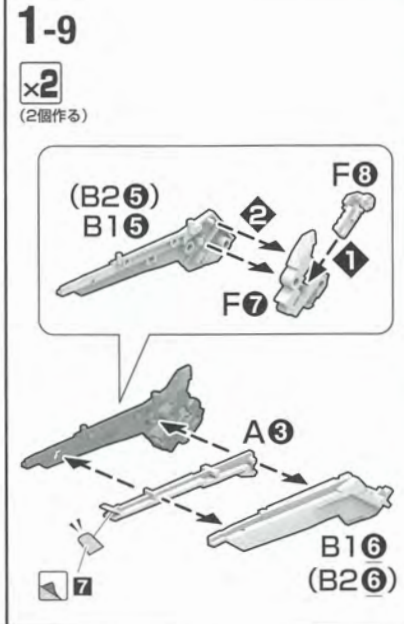
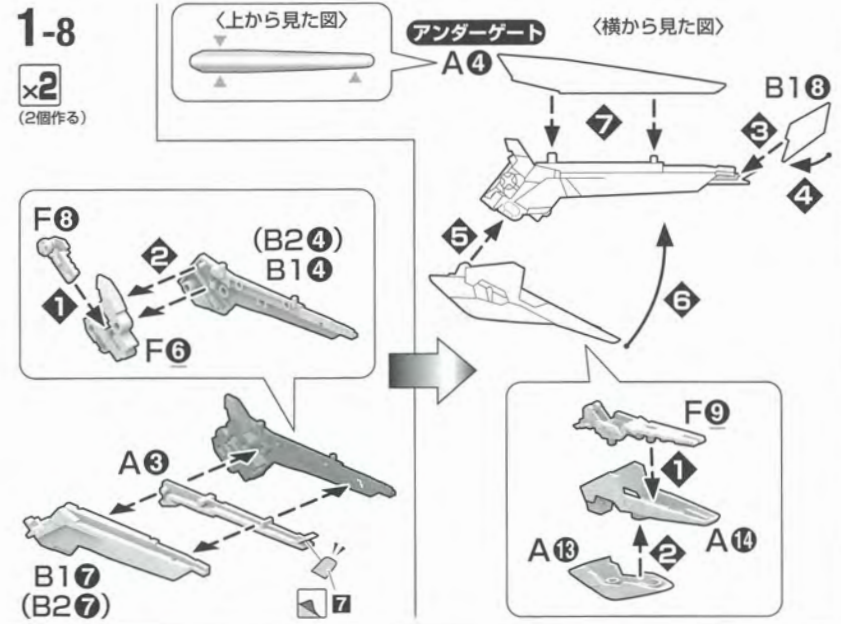
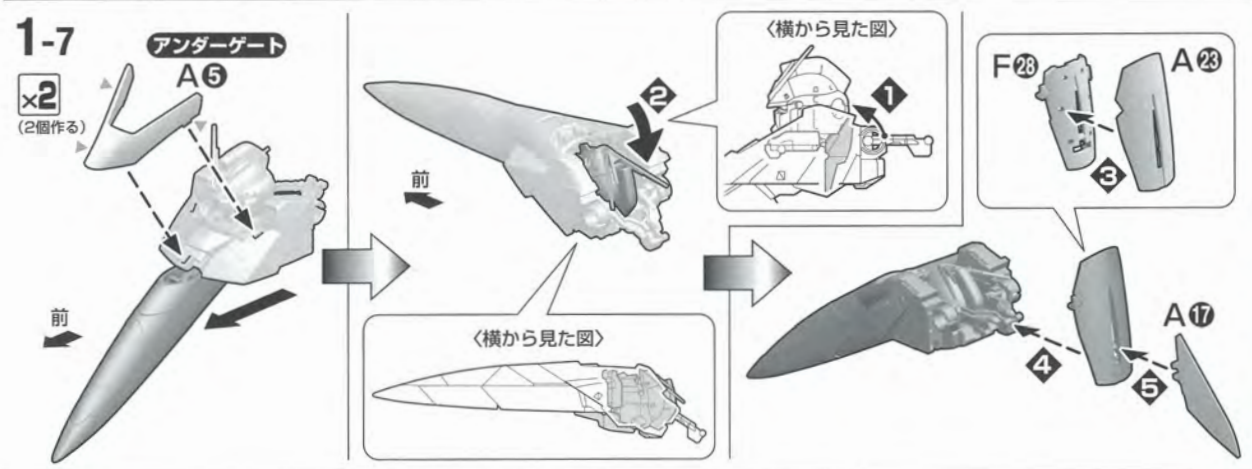
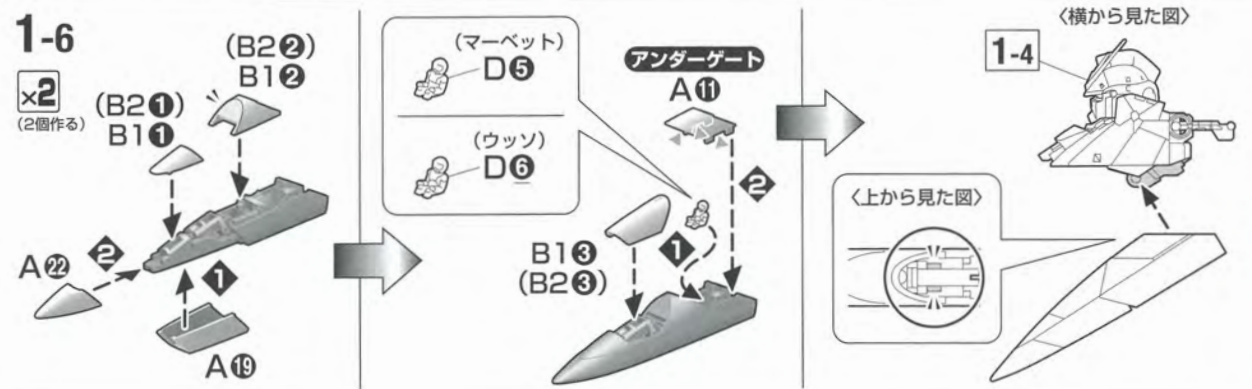
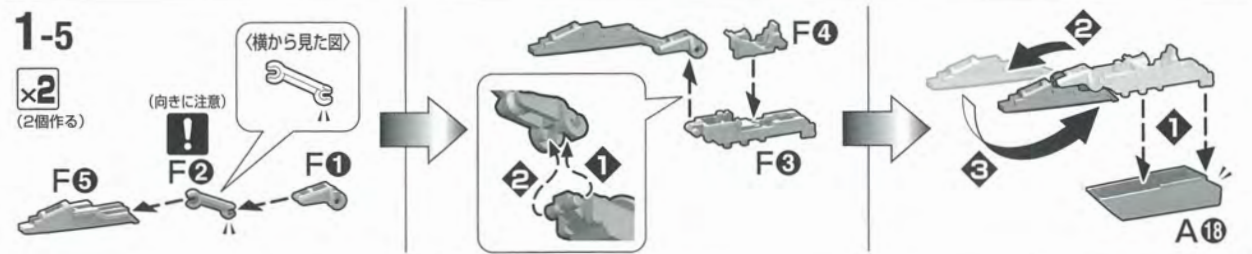
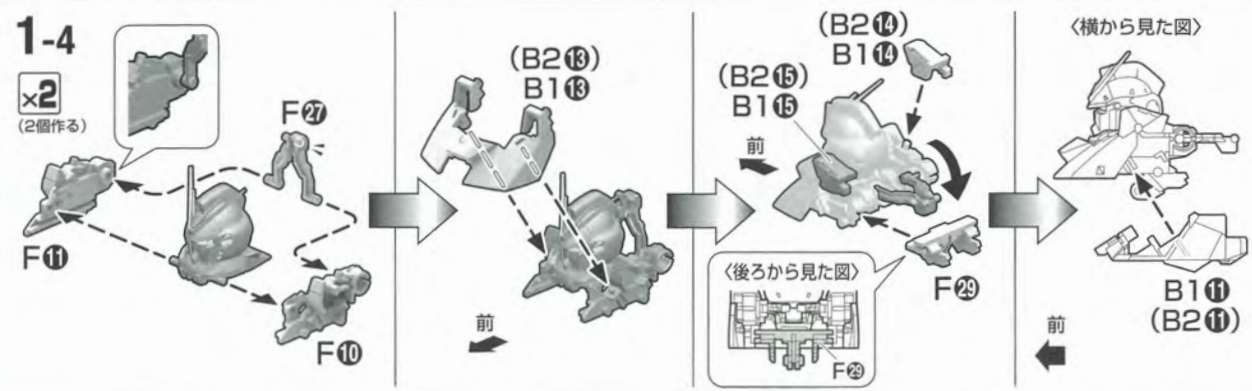
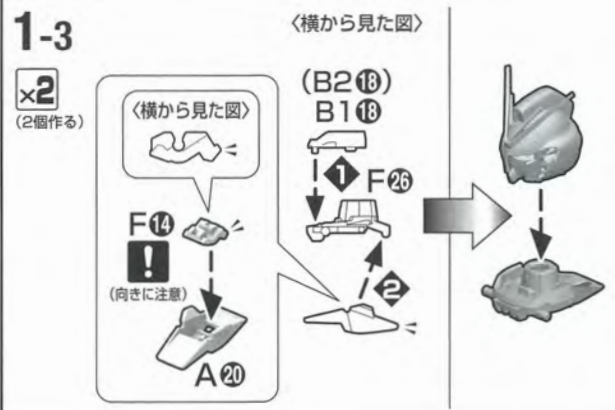
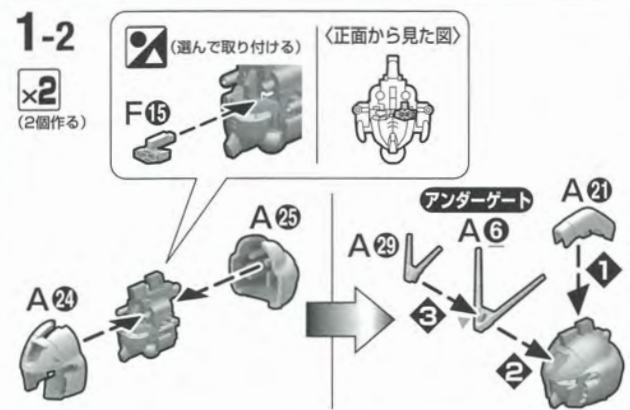
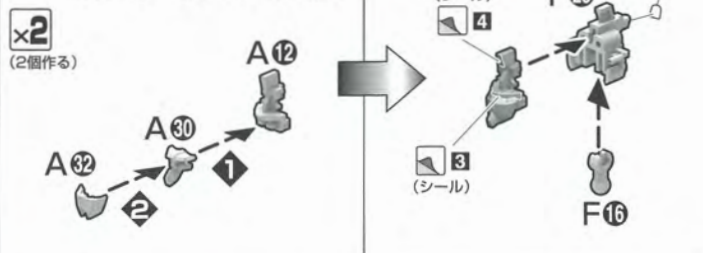
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

接着をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側と同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動きます



1-1 V2 CORE FIGHTER (V2コア・ファイターの組立)



1-10 (2個作る)
 <上から見た図> <横から見た図>
 アンダーゲート A4
 B28, F9, A10, A18, 1-9, 1-7, 1-8
 向きをかえます。

1-11 (2個作る)
 A9, A8, A10
 (選んで取り付ける)
 ※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイすることもできます。

2 RIGHT ARM **3 LEFT ARM**
2-1 ARMS (腕の組立) (2個作る)
 F22, F20, F21, C22, F24, F23
 ※きれいに切り取ります。
 MOBILE SUIT GUNDAM VICTORY II "Ver.Ka" L.M./MULTIPLE MOBILE SUIT

2-2 (2個作る)
 C21, (B210) B110, F13, F12, C25
 <横から見た図>
 MOBILE SUIT GUNDAM VICTORY II "Ver.Ka" L.M./MULTIPLE MOBILE SUIT

2-3 (2個作る) E1, E23, パチ, C27, F19
2-4 (2個作る) A33, A34, E9, A35, D9, F17
 ※切り取らないように注意してください。

2-5 (2個作る) C26, 2-4, C16, C19, C20, C23, F18, C15
 ※切り取らないように注意してください。

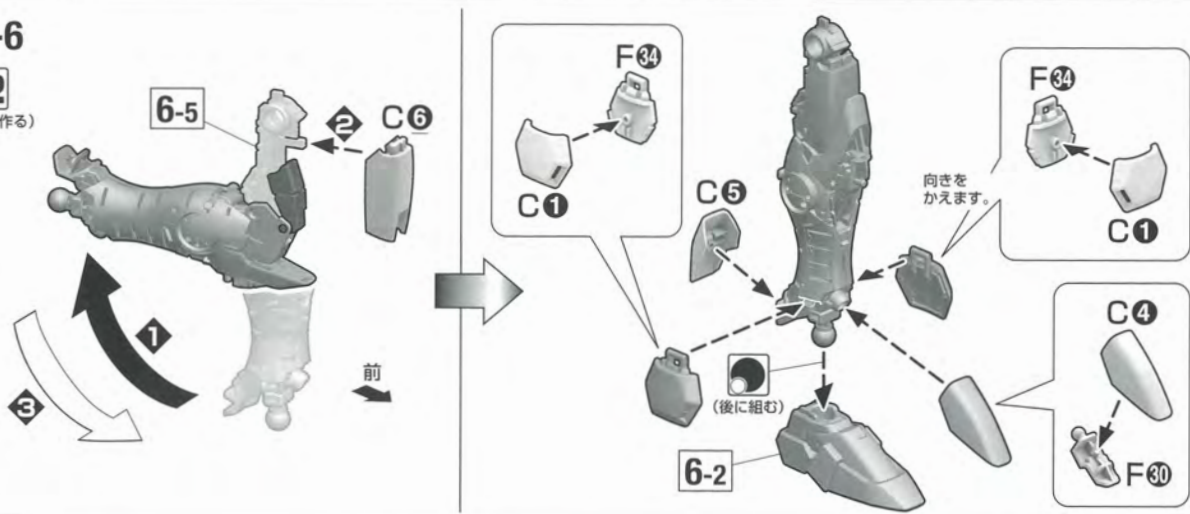
2-6 RIGHT ARM (右腕の組立) (2個作る)
 E4, E5, E12, E16, E18, B116, B117, E17, E19
 <横から見た図>
 ※奥までしっかりと、はめ込みます。
 (両側に貼るシール)
3 LEFT ARM (左腕の組立) (2個作る)
 E3, E6, E12, E17, E19, B217, B216, 2-5
 ※奥までしっかりと、はめ込みます。
 <横から見た図>
 向きをかえます。
 (選んで取り付ける) (両側に貼るシール)

4 UPPER BODY (上半身の組立)
 E24, E25, E27, E26, E28
 前
 MOBILE SUIT GUNDAM VICTORY II "Ver.Ka" L.M./MULTIPLE MOBILE SUIT

4-2 B119, B120, 前
4-3 E43, E42, D3, E22, D10, C17, 前
 MOBILE SUIT GUNDAM VICTORY II "Ver.Ka" L.M./MULTIPLE MOBILE SUIT

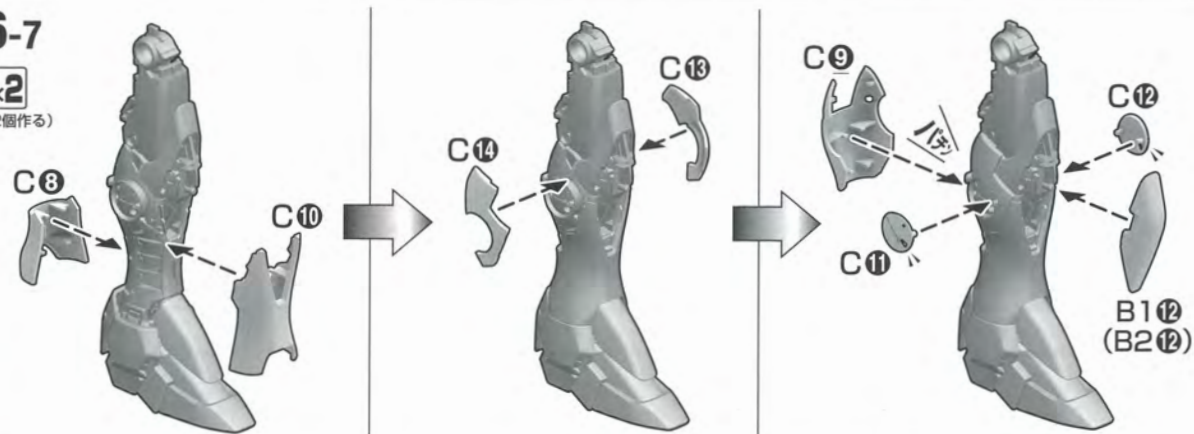
6-6

×2
(2個作る)



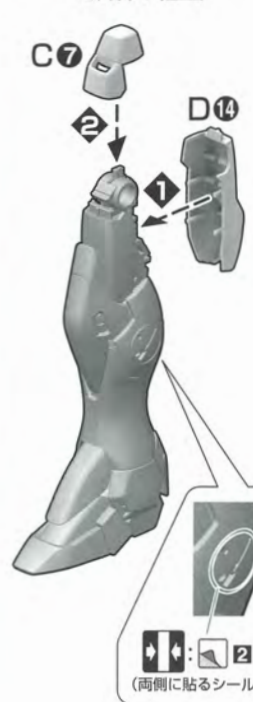
6-7

×2
(2個作る)



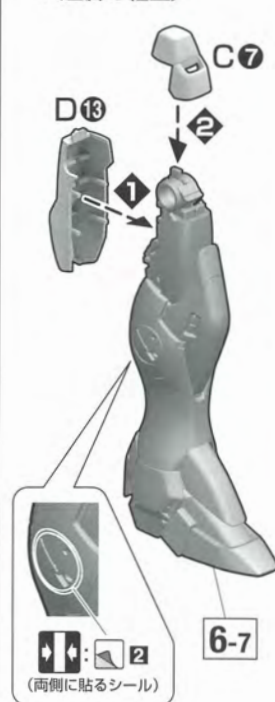
6-8 RIGHT LEG

(右脚の組立)



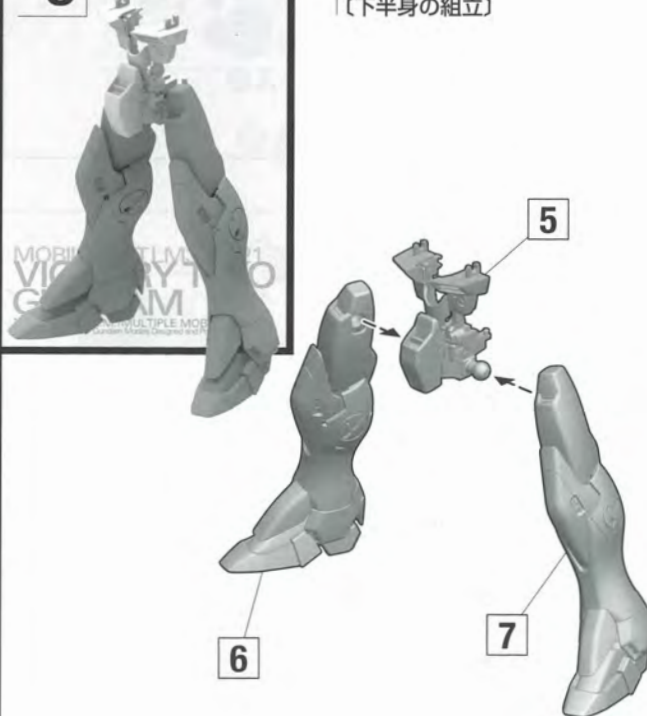
7 LEFT LEG

(左脚の組立)



8 BOTTOM

(下半身の組立)

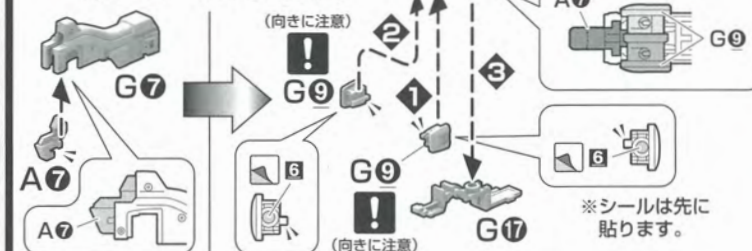


9 WEAPON

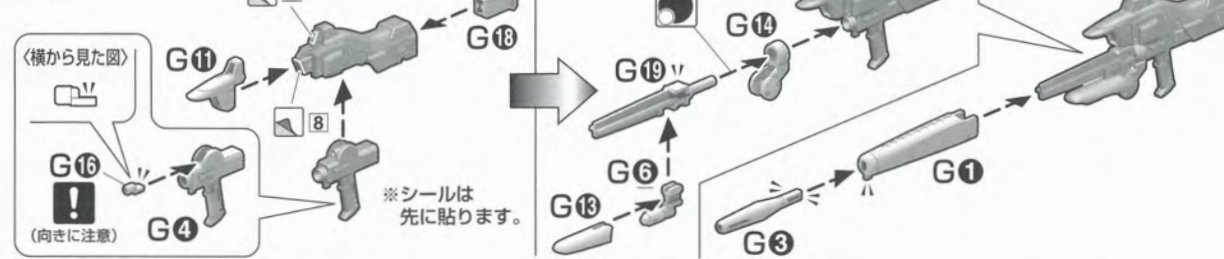


9-1 BEAM RIFLE

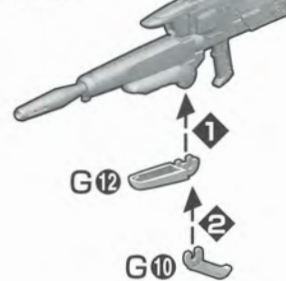
(ビーム・ライフルの組立)



9-2

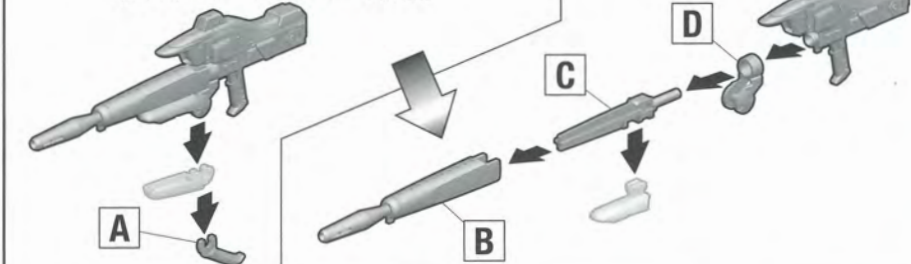


9-3

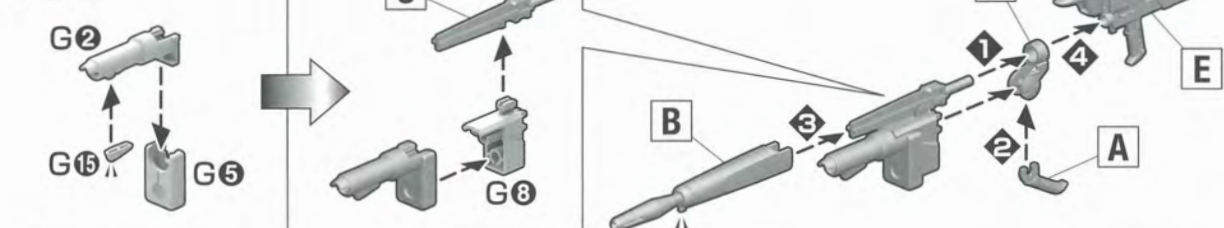


10-1 GRENADE LAUNCHER

(グレネード・ランチャーの組立)



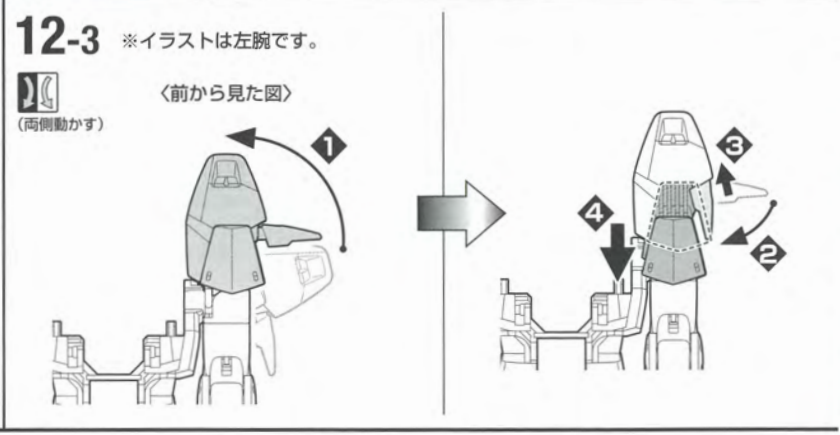
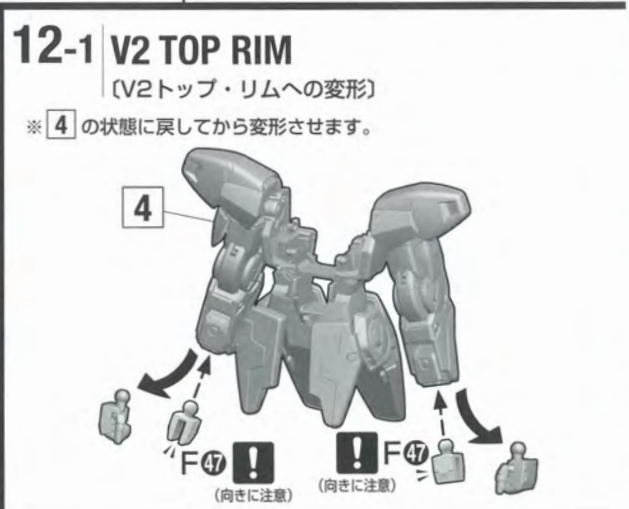
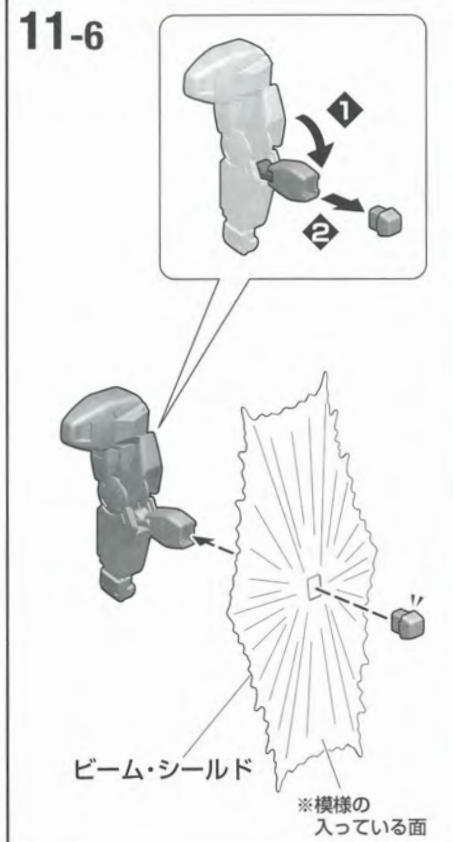
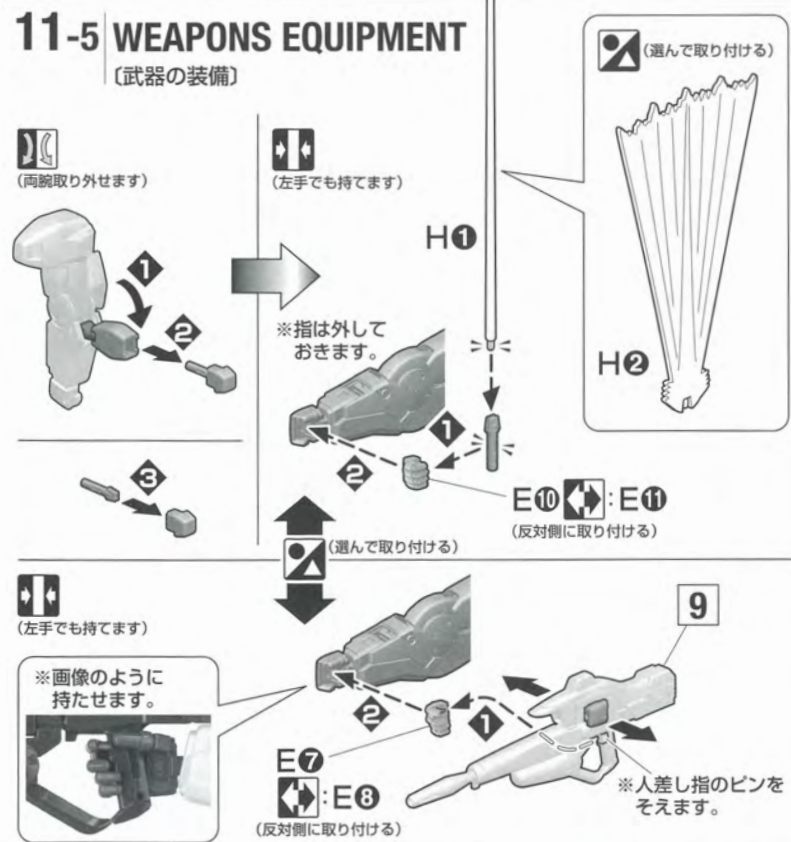
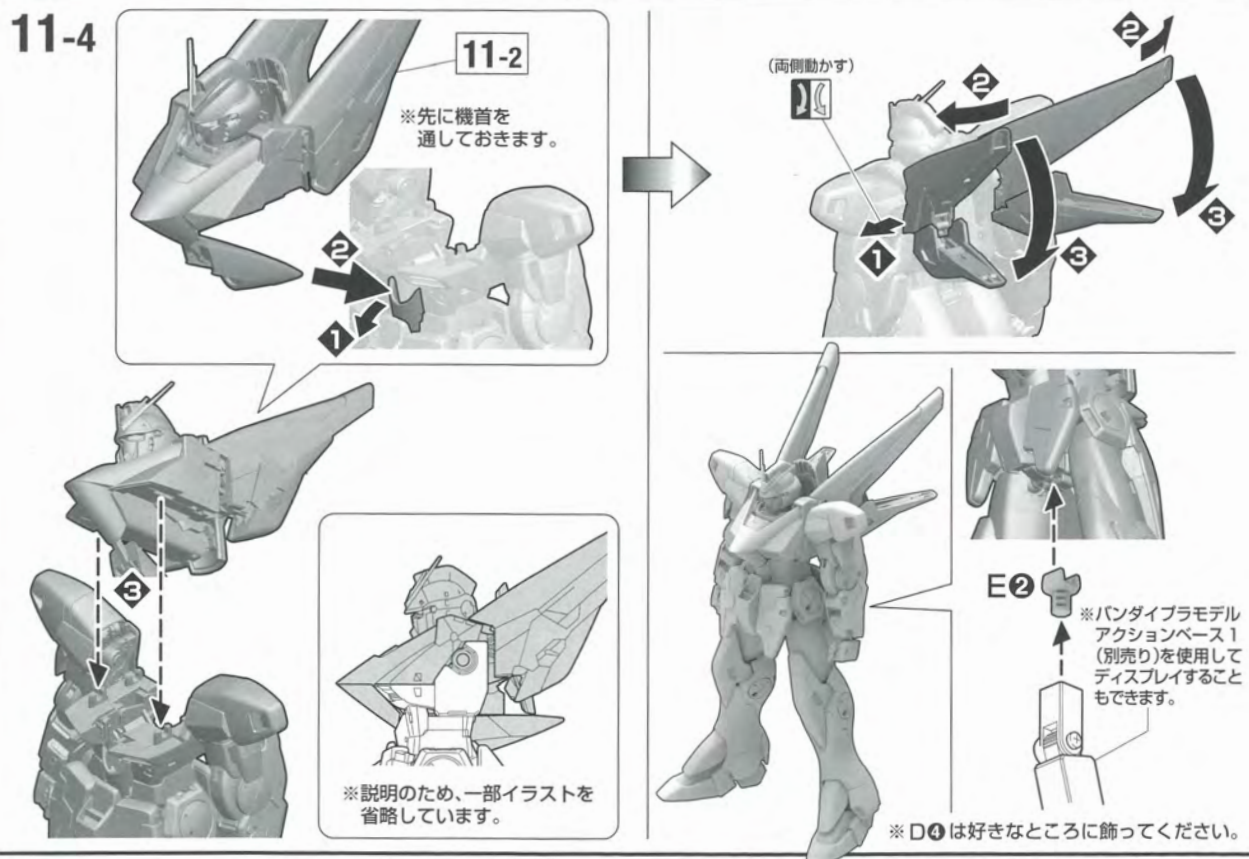
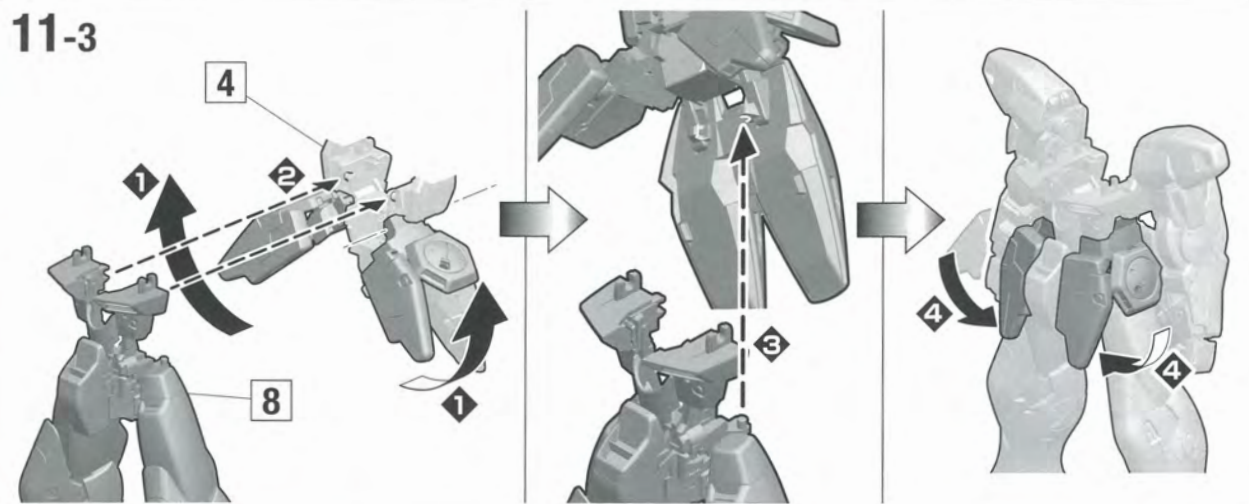
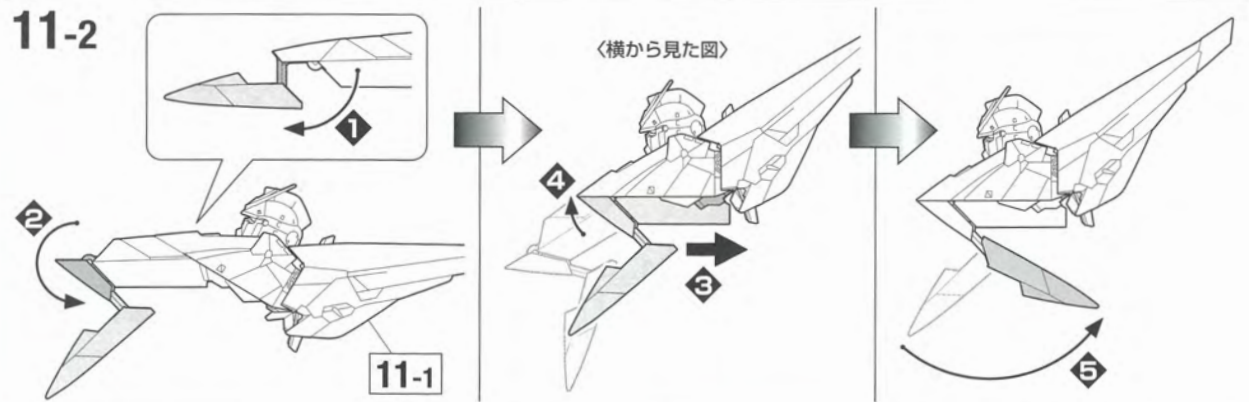
10-2

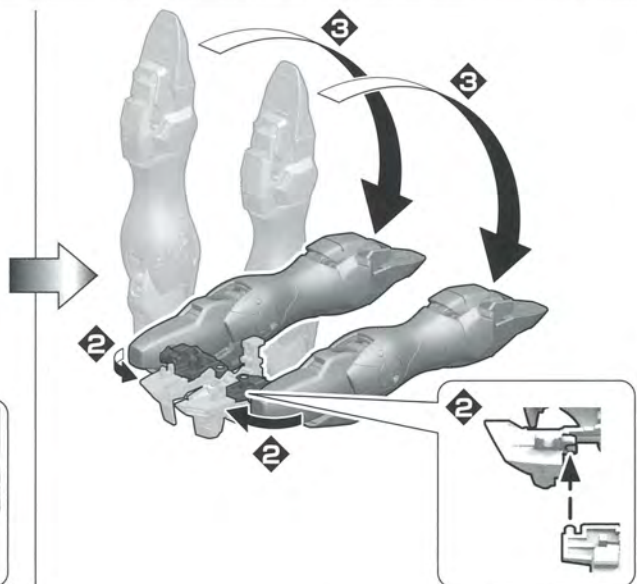
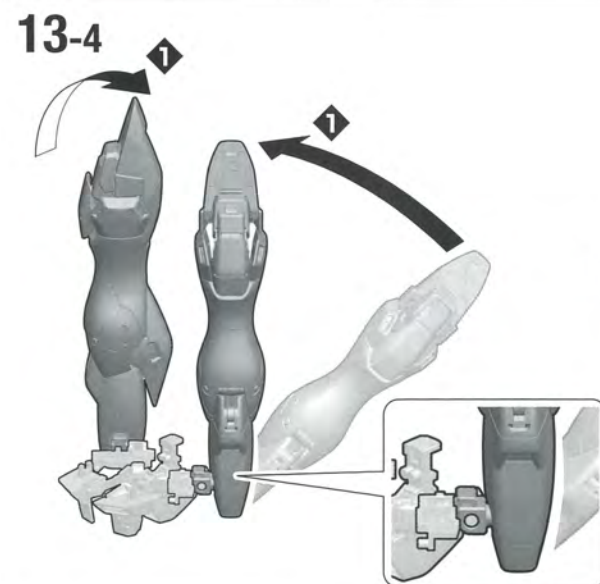
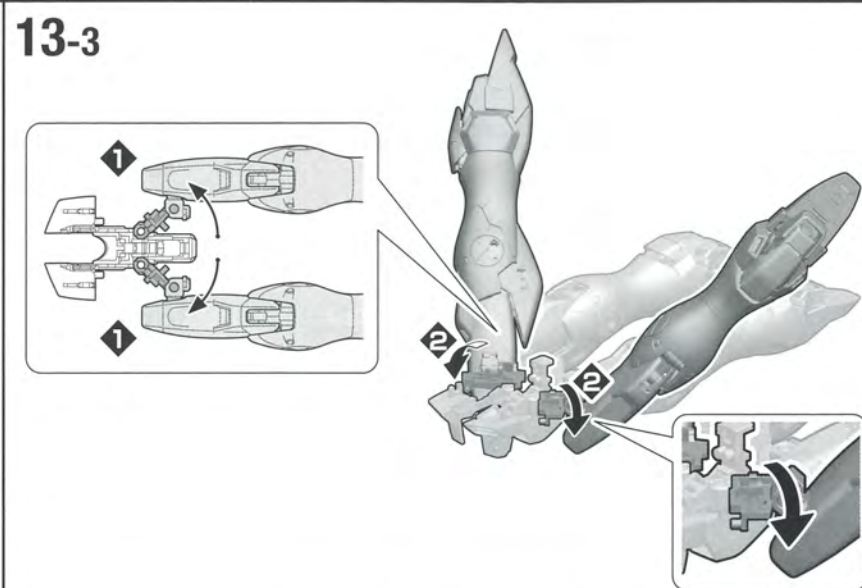
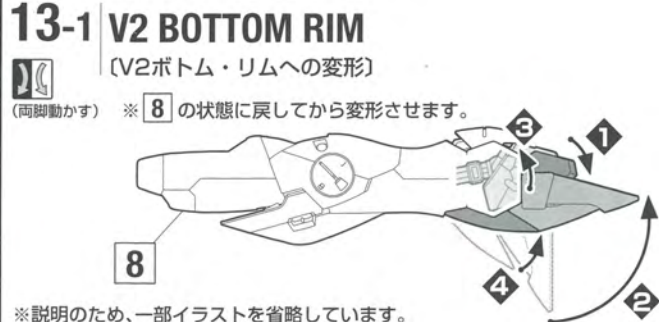
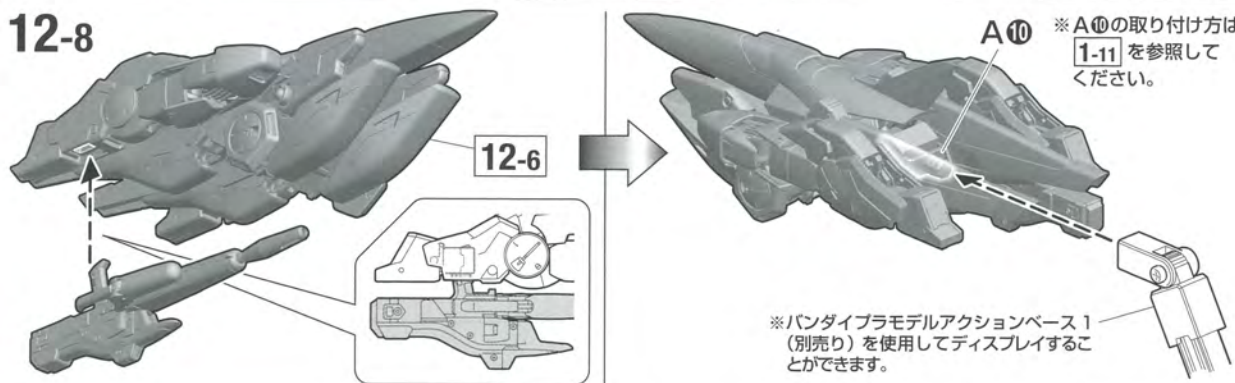
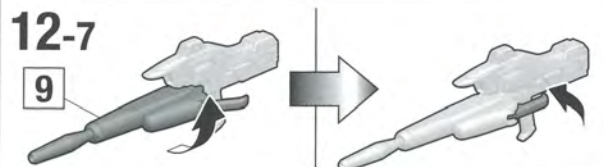
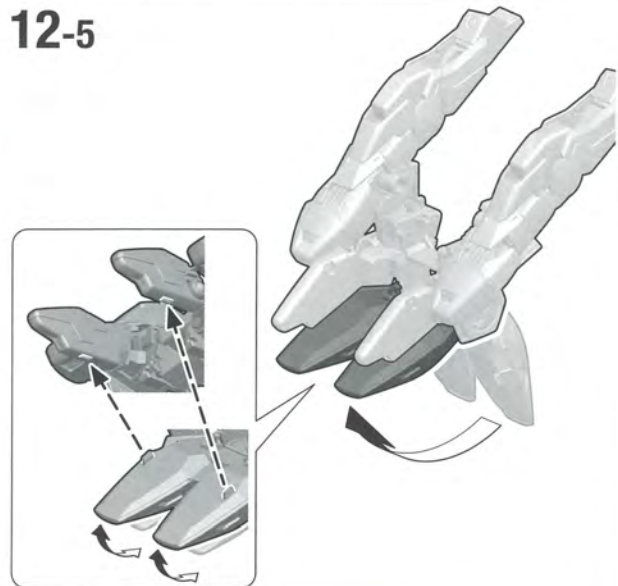
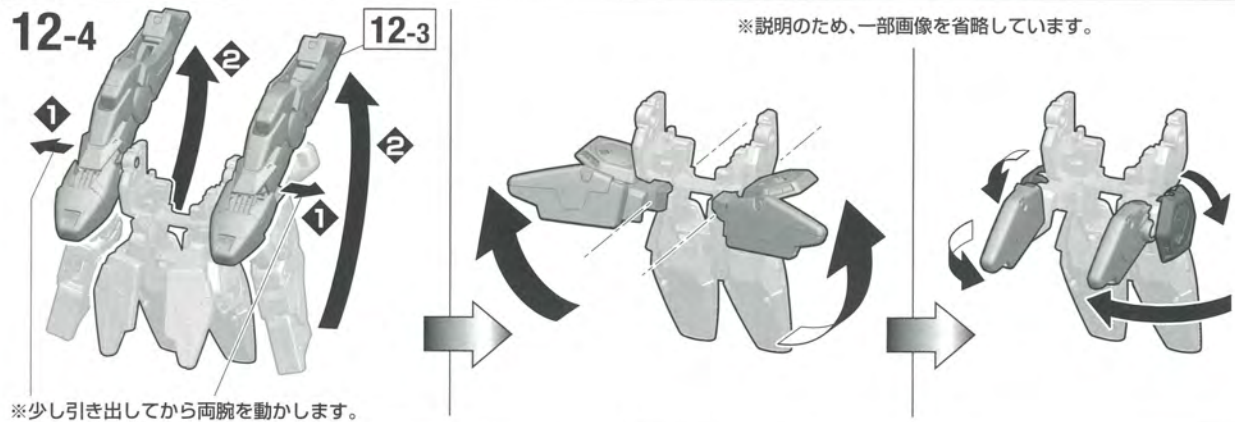


11-1 V2 GUNDAM

(V2ガンダムの組立)

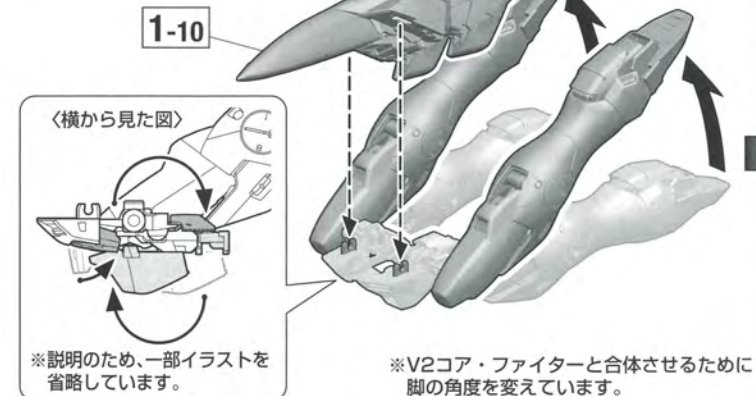






13-5 V2 BOTTOM FIGHTER
(V2ボトム・ファイターへの変形)

※**1-10**の状態に戻しておきます。



※**A10**の取り付け方は**1-11**を参照してください。



